



2015・2・16

第 199 号

101-0065 東京都千代田区  
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

## 安保関連法（戦争法）作るな！ の世論大きく

### 日本の役割強化へ日米共同声明

集団的自衛権行使容認をうちだした昨年7月の閣議決定を受け、これを具体化する安全保障法関連法案（戦争法案）を協議する自民・公明の与党協議会が2月13日再開されました。座長の高村正彦自民党副総裁は、「3月中のそれほど遅くない時期にまとめる」と述べました。公明党の北側一雄副代表は、集団的自衛権行使、他国軍隊への支援、武力攻撃に至らない事態への対応は、「密接に関連する事柄であり、全体をパッケージとしてまとめる」と述べています。

なお、その協議の結果を反映した新しい日米ガイドラインは、4月下旬から5月上旬に予定されている首相訪米前にまとめられ、オバマ大統領と安倍首相の首脳会談を踏まえ、戦後70年の日米関係を踏まえて同盟強化を打ち出す共同文書に反映させる予定といます（2月14日「読売新聞」）。

**「閣議決定撤回せよ」と訴え**

【東京・あきる野9条の会】 あきる野

### 九条の会全国討論集会

◇日時 3月15日（日）

午後1時20分～午後5時

◇会場 専修大学神田校舎 301 教室  
（東京都千代田区神保町 3-8）

◇内容

・呼びかけ人あいさつ

大江健三郎、澤地久枝

・事務局からの報告／提案

・情勢のとらえ方や取り組みについて  
各九条の会の意見交換

◇参加者 全国の地域・職場・分野別九条の会のメンバー（要・事前申し込み。サイト掲載の申込書を使用）

9条の会は毎月29日に「9の日行動」をおこなっていますが、1月29日にはあきる野とうきゅう前で21人が参加してにぎやかに宣伝行動を行いました。

ハンドマイクで訴え、チラシを配り、集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回と憲法9条を守り生かすことを求める請願署名を

よびかけました。

すすんで署名する人も多く、午前 11 時から 1 時間の行動で、140 枚のチラシを配付し、75 人の署名が寄せられました。

**【鹿児島市・谷山九条の会】** 鹿児島市南部の谷山地域でつくられている谷山九条の会は 2 月 9 日、鹿児島国際大学前で集団的自衛権の行使容認に反対し 9 条を守ろうとよびかけました。

この日が入学試験の日で、試験を終えた受験生に「試験お疲れさまでした」と声をかけ、「青年を戦争に行かせない」と書かれたオリジナルのノボリや、「集団的自衛権の行使は許さない」と書いた横断幕でアピール、ティッシュやビラも配布しました。

ビラに目を落とす学生や自らビラを受け取りに来る学生もいました。

**【九条の会徳島】** 九条の会徳島は 2 月 9 日、14 人が参加し、JR 徳島駅前で集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を求める早朝宣伝をおこないました。

「許すな！ 戦争する国づくり」の横断幕や「憲法を守ろう」のプラカードをかかげ、通勤・通学の市民の注目を集めるなかで徳島弁護士 9 条の会の上地大三郎弁護士が「テロ行為は許されないが、武力では対立を生むだけ。冷静な検証と議論が必要」などの訴えをおこないました。

## 手描きポスターを町中に

**【前橋市・大利根地区九条の会】** 大利根地区九条の会は毎年数回の例会のうち 1 回を 9 条ポスターを描く会にあて、貼ってあるポスターを新作に張り替えています。ポスターを貼ってある家は会員扱いで、会

員はいま 300 世帯 430 人。年 12~13 回発行のニュースを届けています。

きっかけは 8 年前、「下手でもいいから目立つポスターを自分たちで描こう」とよびかけたところ小学生たちを含む 15 人が集まりました。

A 4 判の画用紙にハトやブタ、アトムやドラえもんなど思いも思いの絵とともに、「九条大好き、平和がいちばん」「輸出するなら 9 条を」などの言葉をそえて防水加工。

訪問して「平和のポスター貼らせていただいけませんか」「これお隣の〇〇ちゃんの作品です。いかがでしょう」などと声をかけると OK してくれる家が多いといいます。「プロのような作品よりも、子ども作品やあまり上手でない絵が人気」と事務局。

## 九条の会結成の便り

**【三重県・多気町】** 1 月 29 日、三重県多気町で「多気町 9 条の会」結成総会が開かれました。多彩な町民 14 人が「二度と戦争を起してはならない」とよびかけたもの。

総会では呼びかけ人のうち本楽寺（同町丹生）住職の尼子文成さん、元高校教師の遠晴世さんが自身の戦争体験を語り、「九条の会」運動を通じて平和を守りたいと語りました。また獣医師の山添馨さんが戦争を知らない世代として、戦争を語り継ぐ決意を語りました。「松阪 9 条の会」の多喜正男さんも参加、「多気町 9 条の会」にエールを送りました。

参加者からは「こんな会を待っていた。本当に嬉しい」、「若い人にもどんどん広げたい」などの声がつぎつぎ出されました。